



私が過ごした香住小学校舎



佐津小学校での懇談会

先生方の勤務希望地を確認した上での計画が先生には確認を取っていません



吉川 康治 議員

子どもたちの社会性を念頭に置くとしながら、説明会では先生の再配置

にも触れられた。先生方にも人権や家族があり、尊重すべきであると理解する一方で、再編は令和6年、令和8年、令和10年以降と位置づけて実施される案となっている。その要因となる先生方の再配置に関して、勤務希望地などのエビデンスを

取られた上で再編計画案を出されたのか。
教育長 教職員に対してエビデンスとなるような質問は一切しておりません。
 今後は当然のごとく、再編に向けて行動していかないといけないと思います。



近年行われてきた他市町の動き等も確認をしながら、再編案を検討してきました。併せて、何年たったら定年延長がというような動きも計算をしながら出てきた数字です。今後は、再編案に基づいて職員とのやり取りや、検討委員会を進めていきます。

香住区の小学校の再編は小学校毎に会話を進めています



上田 勝幸 議員

少子化の進行は思いより早く、どの地域においても子どもたちの声があまりに聞こえない。

香美町教育委員会発行の児童生徒数、将来推計

を見るとこの十年で学年平均児童三、四名になること。淋しいことこの上もない。

懇談会に参加し、感じるのは学校の統廃合が待ったなしの状況になっているということ。

① 統合に向けて先生方の去就はどうなるのか。
 ② 児童の通学方法は、
教育長 ①の先生方の去就に関しては、令和六

年までに定年退職を迎える予定者は五名、その他の先生は他市町で受け入れて頂くことも視野に、先生方にも生活があることを念頭に、できるだけ努力を傾注します。
 ②の通学方法については、今の段階では何とも申し上げられません。
 検討委員会で協議して頂きます。

